

ベイス株式会社 代表取締役社長
吉村 公孝

1972年広島県生まれ。1991年広島県立三原高等学校を卒業。
大学卒業後、通信エンジニアリング会社にエンジニアとして入社。
入社1年半後の1996年に個人で創業し携帯電話の通信エンジニアリング事業を開始。2000年に法人化。現在は超スマート社会の推進をインフラ技術で支えるインフラテック事業を展開し、主に5GやIoTといった通信インフラの構築を進めている。2021年に東証マザーズ（現グロース）に上場。近年は地元広島での活動や、地方の起業支援、起業家育成を通じた地域貢献活動にも力を入れている。

○講演内容

起業家について

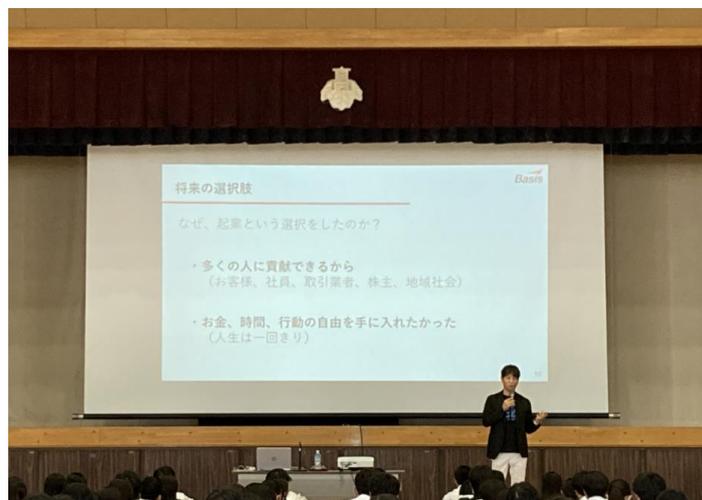
起業家とは自ら事業を立ち上げる人物のことであり、吉村は講演で起業という選択肢の魅力と自由度の高さについてお話し、起業を通して多くの人に貢献できることや、お金や時間、そして行動の自由を手に入れることができるという点についても提唱しました。

学生時代

吉村の高校時代は高度経済成長期で、安定した会社員になることが将来安泰と考えられていました。しかし、大学時代にバブル経済が崩壊し、不景気が続く中で、会社員以外の選択肢を考え始め、自立・独立を目指して起業を決意しました。起業を通じて多くの人に喜ばれ、貢献できる素晴らしい仕事だと実感した経験をもとに、「起業」という選択肢を紹介しました。

目標設定と挑戦の重要性

人生の「成功」とは、自分にとって価値ある目標を達成することで、成功するためには「目標設定」と「挑戦」が不可欠であると説明しました。さらに、「目標を明確にし、可視化している人」が成功しやすいという某大学の研究結果を例に挙げ、「目標設定⇒挑戦・具体的な行動⇒小さな失敗と改善⇒成長⇒成功」という原理原則についても共有しました。



講演の様子

○質疑応答

質問1：起業するために、学生時代に身に付けておくことは何ですか？

回答1：起業にかかわらず、人生において大切なのは目標を立ててそれを達成する癖をつけることです。今の学生生活で言えば、部活動や勉強において目標を設定し、それを達成するプロセスを学ぶことが重要です。

質問2：起業することは失敗やリスクがありますが、怖くないですか？

回答2：若い時に挑戦したからこそ、何度でも挑戦し直せます。一度の人生で、挑戦して失敗することよりも、挑戦しなかったことへの後悔の方がずっと怖いです。周囲から悲観的なことを言われても、自分の人生は自分でしかコントロールできないので、親や周囲に左右されず、自分の道を切り開いていくことが大切です。

○在校生に対するメッセージ

私自身、高校時代にはまだ見えていなかった未来の選択肢が、様々な経験を通じて広がっていきました。在校生の皆さんも、目の前にある勉強や部活動を通じて目標を設定し、それを達成するプロセスを大切にしてほしいと思います。

今回の公演を通じて、より多くの学生にとって将来の選択肢を広げる一助になれば幸いです。

○ベシスについて

ベシスは2021年に東証マザーズ（現グロース）に上場、「ICTで世の中をもっと便利に」を企業理念に掲げ、テクノロジーを駆使しながらデジタル社会のインフラメンテナンスを創り、支える「インフラテック事業」を行っています。通信・電力・ガス等のインフラ事業者様に対し、通信インフラの設計・施工・運用・保守サービスおよび各種プロジェクト支援等のサービスを提供しています。

<https://www.basis-corp.jp/>

○ベシスのサービスご紹介

IOT機器の設置にお困りの方は、以下の当社プラットフォーム「スマセッチ」をぜひご覧ください。「スマセッチ」は、IOT機器などを活用したスマートインフラを構築する際に、機器の取り付けや施工の工程管理、施工後の運用・保守を依頼可能なプラットフォームです。

<https://smasetchi.com/>

○代表取締役社長 吉村公孝のXアカウントご紹介

代表取締役社長 吉村公孝のXアカウントより定期的に会社情報等の発信を行います。ぜひフォローをお願いいたします。

以下のQRコードもしくは「吉村公孝@ベシス社長」「@yoshibasis」で検索ください。



以上